

暦の上では春を迎えましたが

## 大寒波が襲来しています

これを書いているのは二月七日です。  
 今期の冬は例年になく寒い日が続いています。  
 ここ松浦における日中の気温も、摂氏5℃を下  
 回る日が多く、いわゆる「骨身にしみる寒さ」  
 という感じですが。大変です。

二月七日時点の気象庁による予報では、この  
 寒さはしばらく続く予想となっており、暖かい  
 春はまだまだ先のようにです。

インフルエンザも全国的に大流行中です。こ  
 の号が皆さまのお手元に届く頃には、収束しか  
 かっていないかも知れませんが、油断は禁物です。  
 この厳しい低温傾向で、体力免疫力が削がれ  
 ていますので、少しの油断でうっかり風邪やイ  
 ンフルエンザに罹患する可能性も高いです。

栄養と睡眠をしっかりとして、  
 て、外出から帰った際には手洗  
 いうがいの励行を心がけて、こ  
 の厳しい寒さを乗り切り切ってい  
 きましょう。



## 神社うんちく帖

さて、今回は「神社うんちく帖」の続きです。  
 前回の記事からかなり時間が経過しましたの  
 で、どこまで書いたか自分でも忘れていま  
 す。  
 なので、今回はこれまで書いたことのおさら  
 いをしてみたいと思います。

### ◆「混沌」から「この世界の始まり」へ

その昔、世界にはただ「混沌」がありました。  
 それは天地もなく光も闇もなく、なにもわか  
 らない、なにもはつきりしたものがない状態です。  
 そこに「神さま」が生まれます。それからこ  
 の「この世界」が存在を始めます。

世界中のいろいろな神話をみると、多くのも  
 のが「混沌」から「神々の誕生」を経て「この  
 世界の始まり」という形で描かれています。  
 世界各地に散らばる別の神話なのに、そうい  
 う共通したところがみられるというのも、なん  
 とも面白い話です。  
 もちろん日本の神話も同じ形の神話です。

### ◆最初に現れた神

#### 天御中主神（あめのみなかぬしのかみ）

最初に現れた神とされています。  
 この天御中主神が現れたことよって、あら  
 ゆるもの、つまりすべてが始まります。

### ◆生み出す神々

#### 高御産巢日神

#### （たかみむすびのかみ）

#### 神皇産霊神

#### （かみむすびのかみ）

天御中主神の次に現れた神とされ  
 ています。この二柱の神さまたちは、  
 「産み出す神さま」です。

「むすび」は「結び」であり、それ  
 は「形作る」という意味を持ちます。  
 つまり、万物を作る力の神さまです。

この神さまたちの出現があり、そ  
 してこの「世界」が存在しはじめて  
 いきます。これら三柱の神さまたち  
 は「造化三神」と呼ばれています。

さて。「世界」は作られ始めまし  
 たが、依然として「原初の世界」な  
 ので、そこにはまだなにもありません。  
 ただ「産み出す力」があるだけ  
 です。この力をもとに、これから現  
 れる神さまによって、世界は徐々に  
 具体的に形作られていきます。

ちなみに、これは『古事記』にお  
 ける記述であり、もう一つの神話で  
 ある『日本書紀』では少し違った形  
 になっています。